

様々なフィールドで活躍する税関職員

関税局

松本 莉加子

MATSUMOTO Rikako

平成29年一般職(大卒程度)行政
関税局業務課(知的財産調査室)(神戸税関採用)



幅広い業務経験を通してキャリアアップ

現在の業務

私が所属する関税局業務課知的財産調査室では、税関における知的財産侵害物品の水際取締りに関する施策や取組みの検討を行っています。知的財産侵害物品とは、商標権や意匠権、特許権、著作権等の権利を侵害する物品のことで、拳銃や不正薬物等と同じように輸出入が禁止されています。各知的財産権に関する知識も必要となることから、専門性が高い分野ではありますが、その分日々のやりがいも大きいと感じています。

魅力・PR

知的財産侵害物品は世界各国でも問題となっており、その拡散を防止するため、税関当局間での国際協力も活発に行われています。日本税

関としては、各国税関との情報共有の場として開かれる国際会議への参加や、途上国税関に対する技術支援という形で日本税関の法制度やノウハウ等を共有しています。私は以前、別課で日本税関による技術支援の企画立案に携わっており、そこで得た知見を今は別の立場から活かすことができます。関税局では幅広い業務経験を通して、自身の強みを活かし専門性を高めることができる点において、魅力的な職場だと感じています。



他省庁

坂野 涼

SAKANO Ryo

平成21年Ⅲ種行政
金融庁証券取引等監視委員会事務局特別調査課
管理第二係長(大阪税関採用)



資本市場の番人として

現在の業務

金融庁証券取引等監視委員会では、「市場の番人」として市場の公正性・透明性の確保や投資者保護の観点から、証券会社等の検査や、金融商品取引法違反に係る犯則事件の調査等により、市場監視を行っています。

私の所属する課では、ニュースで目にするような重大で悪質な事案を取り扱っており、私はその中で事件の調査や、事件を検察庁へ告発する際の手続き等を担当しています。

調査に関しては、税関で取り扱う事案とその形態・性質に違いはありますが、調査方法や手続き等で共通点もあり、税関での経験が活きる場面も多くやりがいを感じられる職場です。

魅力・PR

職員構成は、金融庁職員のほかに税関、財務局、国税や検察庁、公認会計士、証券会社出身者など多様なバックグラウンドを持つ人材からなり、それぞれが結集して業務にあたることから、税関では得られない各分野の知識等を吸収したり幅広い人脈が形成できたりと、他省庁出向にも様々な利点があります。

他の業務紹介にもあるように、税関は業務の幅が非常に広く、他省庁出向も含め多様な選択肢がある職場です。これは自分に合った働き方を探すうえで大変魅力的なことだと思いますので、是非税関に興味を持っていたらと思います。



関税中央分析所

原 裕樹

HARA Yuki

平成22年Ⅱ種化学
関税中央分析所分析官(第二分析室)(大阪税関採用)



専門的な知識や技術を活かせる職場

現在の業務

関税中央分析所は、化学や生物、機械工学といった専門的な知識や技術を活用し、税関の3つの使命に貢献しています。例えば、新しい素材や不正薬物に対応する分析方法の確立、爆発物や不正薬物の検査を支援する検査機器の調査・研究に取り組んでいます。また、各税関の分析部門における人材育成、海外税関の分析担当者に対する研修等の技術指導を通じて、分析技術の水準向上や国際的な発展にも寄与しています。

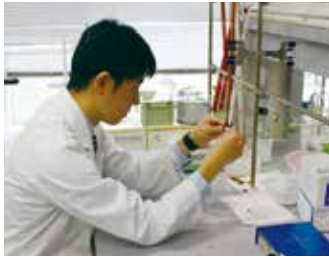
私は、令和5年度から分析官として第2分析室に所属しており、農水産品の分析を担当しています。農水産品は物品毎の関税率較差が大きく、重要な分析分野の一つです。また、輸入規制(ワシントン条約等)や輸入制限(輸入割り当て等)のある物品も多く、貨物がそれに該当していない

か否かの分析も行っており、関税決定のための分析だけに留まりません。

魅力・PR

私は大学で構造生物化学を専攻しており、その知識や経験が業務に活かれています。様々な業務を行う中で知識不足により苦勞することもあります。周りの職員のサポートや研修制度の充実により、安心して仕事に取り組むことができます。

今後皆さんと一緒に仕事ができることを、心より願っています。



海外

城 彩沙香

JO Asuka

平成30年一般職(大卒程度)行政
世界税関機構アジア大洋州キャパシティビルディング地域事務所
(タイ・バンコク)(門司税関採用)



税関業務を通じた国際協力への貢献

現在の業務

私はWCO(世界税関機構)の地域組織であるROCB A/P(キャパシティビルディング地域事務所(アジア大洋州地域))で、アジア大洋州地域の途上国税関に対する技術支援を担当しています。着任以来、税関の研修能力の向上をテーマにしたワークショップの運営や税関研修所の調査を行い、各国から入手した情報をもとに優良事例集の作成を進めています。そのほか、情報収集のために国際会議に参加する機会も多く、技術協力を軸に幅広い業務に携わっています。

また、日本税関の資金や専門家を活用した技術協力について、その細やかな支援に対する謝辞を国際会議の場で直接受け取ることもあり、世界における日本の貢献度や存在感の大きさを感じています。

魅力・PR

事務所では、アジア各国からの税関職員と働き、考え方や仕事の進め方も異なる中で、毎日刺激を受けています。日本税関の一員として、WCOや途上国のために何ができるのか、自分が果たすべき役割を考えながら従事することがやりがいとなっています。

税関は国内外で成長の機会に恵まれた職場です。皆さんもぜひ、税関業務を通じて国際協力に貢献してみませんか？

